



在京古高同窓会会報
第62号

〒352-0031
新座市西堀2-17-37
在京古高同窓会事務局

☎・FAX (042) 494-1598
URL: http://在京古高同窓会.jp
Email: skyoji@jcom.home.ne.jp

発行責任: 大友 文博
編集長: 亀井 明
印刷: (株)ケーヨー

2019年 年頭挨拶
会長 鹿野 軍勝



皆様、新年明けましておめでと
うございます。

今年も皆様の元気なお顔を拝見
したいと思っておりますので、なに
とぞ宜しく願います。

皆様も平成最後のお正月を迎え
られたことと思いますが、平成30
年間に對する皆様の想いは如何な
ものでしょうか。30年と言えば、
長いようで短い、いや短いよう
で長い、気がします。

私にとっての平成は、あの雨の
降る寒い寒い日から始まったよう
な気がします。「激動の昭和」、そ
してそれを象徴する昭和天皇が崩
御された時期でしたが、社会には
今だバブルの余韻が残っていたよ
うに思い出します。日本の会社が
ロックフェラー・センターやコロンビア
ピクチャーズ、あるいはペブル・ビー
チを買収してました。やがて、
バブルのツケで証券・銀行不況と
続き、「ジャパン・アズ・ナンパワ
ー」から「ジャパン・パッシング」(誰

も日本など見向きもしない」と
いう厳しい時代を過ごすことにな
ります。

今ようやく少し元気な時代を迎
えています。平成は阪神淡路大
震災や東日本大震災などの自然災
害に何度も見舞われました。オウ
ム真理教による地下鉄サリンなど
もありました。

目を外に転じると、天安門事件
で大きく揺れた中国が、今や政治
経済・軍事等あらゆる面で米国の
競争する大国の様変わりしたの
も、この30年の歩みの一つです。

先程米国の中間選挙が終わりま
した。民主党が下院の多数を奪還
したので民主党の勝利という人も
いれば、共和党が引き続き上院を
制したのでトランプ大統領の勝
利だという人もいます。どちらも
真実の一端を語っているのではし
ょう。

思い起こせば、2001年の同
時多発テロ事件で国内世論の結
集・国際社会との協調を勝ち得た
米国が、あれから20年足らずでト
ランプ大統領の下で国内を大きく
分断し、国際社会を混乱に陥れて
いるのもこの30年の歩みの一コマ
と言えるでしょう。やはり30年は
長い、長い道のりだったようです。
おしゃべりはこの位にして本題
に入ります。来る1月26日(土)
には恒例の四校合同の新年会が開

在京同窓会メモ

- ・会計年度は4月-翌3月、
年会費は2,000円です。
振り込み用紙が同封
された方は会費納入を
お願いします。
- ・会の健全運営のため、
賛助金のご協力をお
願います。
- ・次代会報第63号は
2019年6月1日発行
予定、原稿は常時受付。

催されますので、皆様ふるってご
参加ください。本年は古川工業高
校ダンス部皆様が躍動溢れるダン
スを披露してくれることになって
います。ご期待ください。それで
は新年会でお会いしましょう。

ご挨拶

古川高等学校校長 金 和宏



謹んで新春のお慶びを申し上げ
ます。

在京同窓会の皆様には、日頃よ
り本校教育活動の充実のためにご
支援をいただき、ありがとうございます。

このたび古川高校は、今春開催
される選抜高校野球大会21世紀枠
の県推薦校として県高野連から選
出されました。この会報が皆様の
お手元に届く頃には、甲子園に一
歩でも近づいていることを願って
おります。ここに至る経過を皆様
にご報告いたします。

昨年9月に開催された秋季東
北地区高校野球宮城県大会にお
いて、本校は準優勝を遂げ、57年
ぶりに東北大会出場を果たしまし
た。

地区大会では、敗者復活戦から
勝ち上がって県大会出場を決めた
本校でしたが、試合を重ねるにつ
れてチーム力に厚みも増し、投打・
攻守ともに進化と成長を遂げて
いったように思います。

準々決勝では東北高校に4対3
で競り勝ち、さらに準決勝では大
崎中央高校を4対0の完封勝利で
下しました。

仙台育英高校との決勝戦では序
盤に先制を許したものの、一時逆
転するなど、古高らしい粘り強い
戦いぶりを見せてくれました。そ
の後、育英の強力打線につかまり
3対17で敗れましたが、最後ま
で甲子園常連校に立ち向かった姿
は、私たちに大きな感動を与えて
くれました。

10月13日から秋田市で開催され
た東北大会においても、本校は青
森県第二代表の弘前東高校に4対
3、秋田県第一代表の秋田修英高
校に3対1で勝利し、ベスト4に
進出するという快挙を成し遂げま
した。

盛岡大附属高校との準決勝に
は、2学年生徒全員を応援団とし
て派遣し、試合に臨みました。同
窓生の皆さんも多数応援に駆けつ
けてくださり、スタンドから懸命
に応援を繰り広げましたが、相手
の強力打線にはかなわず、0対10
のスコアで敗戦となりました。
選手たちは最後まであきらめず

健闘しました。

県大会、東北大会を通じて一番
印象的だったことは、勝利した後
に声高らかに校歌を歌う選手たち
の姿です。昨夏の甲子園準優勝の
金足農業高校を彷彿させる光景
が、いまだに目に焼きついて離れ
ません。

在校生にとっても、野球応援を
通して多くの貴重な学びを得たも
のと思っております。皆様からの
温かいご声援に心から感謝申し上
げます。

結びに、在京古高同窓会の益々
のご発展と、皆様のご健勝をお祈
り申し上げ、ご挨拶いたします。



野球部 57年振りの東北大会で活躍

本部同窓会事務局だより

新年のご挨拶

古川高校同窓会

会長 伊藤 貞嘉



在京同窓生の皆様、明けましておめでとございます。本年が皆様にとつて素晴らしい年になることを祈念しております。

2018年は国際的にも、国内的にも様々なことがありました。国際的には貿易摩擦・関税問題、米英仏によるシリアへの軍事攻撃、そしてサウジのジャーナリストのジャマル・カシヨギ氏の殺害とそれに対するトランプ大統領の態度等が取り沙汰されていきます。

国内では自然災害（大阪と北海道の地震と西日本豪雨）により多くの犠牲者が出ました。また、政治と金のモラルの低下に歯止めがかけられないようです。特に11月19日の日産のゴーン会長が逮捕されるというニュースが衝撃を与えています。ゴーン会長は日本の経済・会社運営のグローバル化を先導したとされます。それだけに、このような問題があったのは残念です。

皆様もご存知だと思いますが、リオ会議（2012年）でグアテマラのムヒカ大統領が演説の中で「貧乏な人とは、少ししかものを持っていない人ではなく、無限の欲があり、いくらあっても満足しない人のことだ」と古人の言葉を引用していました。

貧富の格差が拡大している現代社会での行き方を根本的に変えるものが必要になってきているのでしょうか。一方、明るいニュースもいっぱいありました。ソチオリンピックで、フィギュアスケートで二連覇を遂げた羽生や小平などのスケート陣等、テニスの大坂なおみ、野球の大谷翔平や水泳陣等、世界の中で多くの若者がその存在感を高めています。将棋の藤井聡太も大きな話題を集めており、私も棋譜を追っています。若者が世界の中で活躍する姿を見るのは日本人としてとても嬉しいものです。

母校古川高校の昨年从今年にかけてのビッグニュースは、高校野球宮城県大会で準優勝して、東北大会に出場し、ベスト4まで勝ち進んだことです。宮城県から二十一世紀枠として甲子園出場に推薦を受けています。12月に全国の9校に絞られ、本年1月末に最終の3校が決定されます。我が母校が悲願の甲子園出場を果たせるように願っています。同窓会としても、母校全般の発展を支えるために支援活動を強化していきたいと考えています。よろしくお願いたします。

最後になりますが、在京同窓生の皆様方の益々のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。（昭47年卒）

近況報告

事務局長 遠藤 直樹



在京古高同窓会の皆様、新年あけましておめでとございます。

昨年の冬は、11月末でも古川では未だ雪が降っておらず、いくらか過ぎしやすい冬を期待させるような最近の天候になっています。まず始めに昨年の古川高校の活躍を報告したいと思います。昨年は例年以上の目覚ましい活躍を見せてくれました。

ソフトボール部は、福井国体に宮城県選抜チームとして4名が出場し、バッテリーをはじめ、中心選手として活躍し第3位の成績を収めました。宮城県チームとしては30年ぶりの快挙となりました。また陸上競技部では奥山小冬が古高の運動部女子として、初めてインターハイに400mと4000mに出場し、また8月に行われた全国高校陸上競技選抜大会では第4位に入賞いたしました。

それ以外でも東北大会に剣道部（男子個人）、男子ソフトテニス（団体、合唱部、陸上部（男子円盤投・砲丸投）、水泳部（男子個人メドレー）と多くの部活動で東北大会へ出場いたしました。

更に特筆すべきは、皆さんもご存じだとは思いますが、硬式野球部の活躍ではないでしょうか。

秋季高校野球宮城県大会にて古川高校は快進撃を続け、準々決勝では東北高校、準決勝では大崎中央高校を破り、65年ぶりの決勝に進出、決勝では仙台育英に一時逆転する場面もありましたが、惜しくも敗れ、準優勝となりました。更に秋田で行われた秋季東北地区高等学校野球大会に57年ぶりに出場し、初戦弘前東高校、準々決勝で秋田修英高校に勝利し、ベスト4進出を果たしました。

県大会はもちろん、秋田にも多くのOBの方々に応援に駆けつけた声援をいただきました。

古高の活躍は各スポーツ紙にも大々的に取り上げられ、生徒のこれからの諸活動の起爆剤になった

と思います。また、今回の活躍は、古高の悲願である初の甲子園出場が21世紀枠で期待される場所でもあります。甲子園出場となった際には、在京古高同窓会の皆様には多大なるご支援・ご協力・応援をよろしくお願いいたします。

昨年度の同窓会総会は、8月12日にグランド平成で開催され、例年以上の約160名のOBの方々にご参会いただきました。記念講演は、宮城県議会議長の中島源陽様から「出会いから始まる未来への物語」と題し、講演いただきました。

中島氏からは、議員になる前、家業の農業に家族とともに従事している若かりし時の様子やご自身のNPO法人活動の一環でミュージカルに出演した際の動画などを通して、多くの人とのつながりの大切さを講演いただきました。

中島氏の温厚で優しく、何事にも前向きな姿勢が伝わる講演となりました。今年度の同窓会総会は、8月11日に昨年度と同じく、グランド平成での開催を予定しております。詳細につきましては、7月に発行の同窓会会報をご覧ください。

報告といたしました。一昨年120周年の同窓会記念事業の1つである特別教室へのエアコン設置が、7月に完了いたしました。おかげさまで夏の猛暑でも快適な学習環境が提供され、生徒・教員ともに好評を得ています。多くの皆様からのご寄付大変ありがとうございます。

最後になりますが、1月26日の旧古川市内四校新年会が盛会に開催されるよう祈念するとともに、これからも本部同窓会への変わりぬご支援ご協力をお願い申し上げます。（昭61年卒）

お知らせ

第26回 旧古川市内四校関東同窓会「新年の集い」

【日時】平成31年1月26日(土)

- 11:00～総会
- 11:50～公演「ダンス・ダンス・ダンス」(古工ダンス部)
- 12:45～15:00 懇親会

【会場】上野精養軒
電話 (3821-2181)

【会費】8,000円

【交通案内】JR上野駅公園口から徒歩5分



古川工業高ダンス部は、今年発足20周年を迎え、日本高校ダンス選手権5年連続、全日本高等学校チームダンス選手権大会に4年連続で出場。全国の頂点を目指す。

平成30年度
総会報告

総会を振り返って

今年の総会は、いつもの折畳み席がテーブル席に変わって、気持ち少しリラックスした状態で始まりました。

鹿野会長の挨拶でスタート、来賓の皆様もいつものとは少し違うご挨拶。総会議題については前年の活動報告、今年の活動案及び予算、役員選任案の承認など全員一致で承認されました(次頁参照)。

その後、今回の講演テーマである「風力発電の国内外の最新動向と日本の探るべき方向性」について古高45年卒の荒川忠一氏よりプロジェクトを駆使し、色々と説明を頂きました。

今まで、あまり意識を持ちませんでしたでしたが、いかに先進国であるヨーロッパなどが風力発電の必要性を感じ、また中国が風力発電でも世界のトップに躍り出て、世界での出力が500GWを超え、原子力より大きな設備容量を有しているとの事です。それに比べ、日本では目標として「主要電源の一つ」と説明されているものの、実際の日本での数値は3GWで、海外と比較すると殆ど普及されていない状況だそうです。

日本全体が、海に囲まれた恵まれた環境にあるにも拘わらず、何故風力発電や太陽光発電が普及しないのか? 東日本大震災が2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震による災害や福島第一原子力発電所事故による多大な震災に遭遇したにも拘わらず、いまだに新しい原子力発電

所を模索しております。何故、日本は安全な処理施設が出来ていない状態にも拘わらず、原子力発電に固守するのか?

また、同じ間違いを犯すのか。昨今の世界の自然災害も含めて本当に今までにない災害が年々起きる可能性が十分にあります。

提案ですが、在京古高同窓会の皆さんで、少しでも今以上の人災を防ぐ為にも、日本での風力発電

を奨励して行きませんか? 分科会を立ち上げ、同窓会の皆さんと少しでも風力発電を社会に広め、後輩の皆さんに引き継いでもらいませんか?

古高同窓会の荒川先生が世界風力エネルギー学会の副会長として活動中との事です。ので、良い機会かと思いますが! 如何ですか?

(昭41年卒 菊地 務)



荒川忠一氏の講演



各クラス



平成30年度 定時総会出席者名簿 (敬称略)

〔来賓7名〕			伊藤 貞嘉 (同窓会会長 S47卒 米山出身)			金 和宏 (古高校長 一関出身)			齋藤 修生 (在仙同窓会幹事長)								
昭22 松本 慶蔵 (松山)			昭30 平野 武 (長岡)			昭35 佐々木 武磨 (敷玉)			昭42 大友 文博 (田尻)			昭45 岩浪 満 (小牛田)			昭51 菅原 博之 (鹿島台)		
昭27 佐藤 清勝 (中新田)			昭30 三塚 正志 (高清水)			昭36 鹿野 軍勝 (東大崎)			昭42 佐々木 昭美 (田尻)			昭46 岩井 茂樹 (真涌)			昭52 菅原 博之 (稲葉)		
昭29 中森 高 (岩出山)			昭30 横山 武 (松山)			昭37 菅野 隆行 (古川)			昭42 佐藤 誠一 (宮崎)			昭46 鈴木 博隆 (古川)			昭55 阿部 眞明 (小牛田)		
昭29 佐藤 廣 (岩出山)			昭30 和田 勝義 (田尻)			昭37 児玉 隆行 (古川)			昭42 佐藤 誠一 (宮崎)			昭46 鈴木 博隆 (古川)			昭55 阿部 眞明 (小牛田)		
高橋 清亮 (富永)			昭31 渡辺 吉郎 (志田)			昭38 高橋 幸裕 (古川)			昭42 佐藤 誠一 (宮崎)			昭46 鈴木 博隆 (古川)			昭55 阿部 眞明 (小牛田)		
湯本 良相 (鳴子)			昭31 相澤 昭男 (三本木)			昭38 佐々木 恭次 (古川)			昭42 佐藤 誠一 (宮崎)			昭46 鈴木 博隆 (古川)			昭55 阿部 眞明 (小牛田)		
昭30 相原 相 (色麻)			昭31 相澤 昭男 (三本木)			昭38 佐々木 恭次 (古川)			昭42 佐藤 誠一 (宮崎)			昭46 鈴木 博隆 (古川)			昭55 阿部 眞明 (小牛田)		
昭30 門脇 喜代志 (東大崎)			昭33 大友 正行 (松山)			昭39 後藤 雍正 (宮崎)			昭44 角田 耕一 (古川)			昭47 青英 進保 (色麻)			昭56 菅原 祐二 (岩出山)		
昭30 門脇 敏明 (東大崎)			昭33 高橋 俊裕 (富永)			昭41 石川 厚 (田尻)			昭44 山中 政法 (中新田)			昭47 青英 進保 (色麻)			昭56 菅原 祐二 (岩出山)		
昭30 曾根 研一 (西大崎)			昭33 早坂 英郎 (色麻)			昭41 石川 務 (古川)			昭44 荒川 忠一 (池月)			昭47 青英 進保 (色麻)			昭56 菅原 祐二 (岩出山)		
昭30 高橋 廣 (小野田)			昭33 三浦 義明 (古川)			昭42 伊藤 倉雄 (小野田)			昭45 岩瀬 昭典 (岩出山)			昭48 伊藤 健二 (中新田)			昭56 菅原 祐二 (岩出山)		

<第1号議案> 平成29年度 活動報告

平成29年4月1日～平成30年3月31日

<第3号議案> 平成30年度 活動計画案

平成30年4月1日～平成31年3月31日

年月日	活動内容	場所
平成29年 5月20日(土)	在仙古高同窓会総会出席(鹿野会長)	仙台市「ホテル白萩」
5月21日(日)	会報「蛭雪59号」と総会案内発送(会員799名)	信陵会館
6月24日(土)	定時総会、懇親会 講演：今川和彦氏 「生殖技術の真実、課題、将来への展望」	上野精養軒
6月24日(土)	古高新入生向け進路指導講習会(佐々木昭美幹事)	古川高校
7月1日(土)	築館高校同窓会東京支部総会出席(鹿野会長、亀井副会長)	KKRホテル東京
8月5日(土)	本部同窓会総会出席 (高橋顧問 鹿野会長 大友副会長 佐々木事務局長)	大崎市「芙蓉閣」
10月21日(土)	会員交流会「江戸・東京 探訪ツアー 2017」 (深川の芭蕉庵・清澄公園界隈の探訪)	江東区 深川清澄界隈
11月2日(木)	古高創立120周年記念式典出席 (高橋顧問 鹿野会長 佐々木事務局長他)	古川高校
12月17日(日)	会報「蛭雪60号」及び四校合同新年会案内の発送 (会員811名)	信陵会館
平成30年 1月27日(土)	「第25回 旧古川市内四校関東同窓会 新年の集い」開催 (幹事校：在京古高同窓会)	上野精養軒
2月28日(水)	古高同窓会入会式/在京同窓会の紹介(大友副会長)	古川高校
3月1日(木)	古高卒業式出席、並びに「東京蛭雪賞」授与 (鹿野会長、大友副会長)	古川高校

- ◎役員・幹事会：信陵会館
 第1回 H.29年5月21日(日) 14名
 (会報・総会案内発送、他)
 第2回 H.29年10月14日(土) 9名
 (在京・本部総会報告、60号会報発行内容他)
 第3回 H.29年12月17日(日) 13名
 (会報・新年会案内発送、他)
 第4回 H.30年3月24日(土) 14名
 (四校新年会報告、定時総会準備他)
- ◎四校合同幹事会：上野ぶんか亭
 第1回 H.29年10月27日(金)
 第2回 H.29年11月24日(金)
 第3回 H.30年1月19日(金)
 第4回 H.30年2月24日(土)
 古高出席者：鹿野 曾根 児玉 佐々木(恭) 菊地(務) 山中

年月日	活動内容	場所
平成30年 5月19日(土)	在仙古高同窓会総会出席(鹿野会長、佐々木事務局長)	仙台市「バリス宮城野」
5月27日(日)	会報「蛭雪61号」と総会案内発送(会員807名)	信陵会館
6月30日(土)	定時総会、懇親会 講演：荒川忠一氏(東大名普教授、京大特任教授、名大客員教授) 「風力発電の国内外の最新動向と日本の採るべき方向性」	上野精養軒
7月7日(土)	築館高校同窓会東京支部総会出席	KKRホテル東京
8月12日(日)	本部同窓会総会出席	大崎市「グランド平成」
10月20日(土)	会員交流会「江戸・東京 探訪ツアー 2018」 (横須賀「記念艦三笠」と横浜中華街)	
12月16日(日)	会報「蛭雪62号」及び四校合同新年会案内の発送	信陵会館
平成31年 1月26日(土)	「第26回四校合同新年会」開催 (幹事校：古川工業高校同窓会関東支部)	上野精養軒
2月28日(木)	古高同窓会入会式/在京同窓会の紹介(大友副会長)	古川高校
3月1日(金)	古高卒業式出席、並びに「東京蛭雪賞」授与	古川高校

- ◎役員・幹事会：
 定例は年間4回、その他必要事案により関係役員・幹事会を開催
 第1回定例5月27日開催：総会運営他
 第2回定例10月13日開催：総会報告他
 第3回定例12月16日開催：四校新年会準備他
 第4回定例3月24日開催：総会準備他
- ◎四校合同幹事会：
 四校合同新年会(H31.1.26)にむけて、10月下旬から1月中旬までの間に3～4回開催する。
 古高出席者：鹿野 曾根 児玉 佐々木(恭) 菊地(務) 山中 阿部

<第2・4号議案 平成29年度決算/平成30年度予算案>

<第5号議案> 役員選任案

収入の部

科目	H29年度決算額(円)	摘要	H30年度予算額(円)
年会費	540,000	269名 270口/270名	540,000
賛助金	417,000	146人	4200,000
広告料	110,000	企業・個人広告	110,000
寄付・祝儀金	0	個人寄付	10,000
雑収入	45,094	定時総会他剰余金	30,000
収入計	1,112,094		1,100,000
前期繰越金	882,141		834,100
合計	1,994,235		1,944,100

支出の部

科目			
会議費	40,121	信陵会館使用料、役員・幹事会資料他	30,000
図書印刷費	439,472	会報、案内状、封筒他	450,000
事務用品費	6,912	コピー、文具代他	10,000
事務所経費	20,000	信陵会館年間契約使用料他	20,000
通信費	253,246	郵送料、宅急便代他	260,000
慶弔費	122,999	東京蛭雪賞、祝儀、生花代他	100,000
旅費交通費	94,200	本部総会、卒業式出席旅費他	100,000
活動費	147,547	HPメンテナンス費、120周年記念広告費	100,000
雑費	35,638	年会費振込手数料他	40,000
予備費			834,100
支出計	1,160,135		1,944,100
次期繰越金	834,100		0
合計	1,994,235		1,944,100

今回は現行の役員9名が任期満了となりますので、役員9名の選任をお願いします。

役員候補者は以下のとおりです。

(任期) 2018年6月30日から2020年提示総会日まで

- 会長 鹿野 軍勝 S36年卒
- 副会長 曾根 研一 S30年卒
- 副会長 児玉 隆行 S36年卒
- 副会長 大友 文博 S42年卒
- 副会長 笠間 邦彦 S46年卒
- 副会長兼編集長 亀井 明 S55年卒
- 事務局長 佐々木恭次 S38年卒
- 監事 大友 正行 S33年卒
- 監事 鈴木 博 S46年卒

※現行の顧問は以下のとおりです。

- 三浦 澄能 S24年卒 遠山 仁一 S25年卒
- 高橋 俊裕 S33年卒

※現行の相談役は以下のとおりです。

- 門脇 健 S24年卒 春田 紘輔 S27年卒

※現行の幹事は以下のとおりです。

- 佐藤 清勝 S27年卒 佐藤 廣 S29年卒
- 渡辺 吉郎 S30年卒 後藤 雍正 S39年卒(新任)
- 菊池 務 S41年卒 佐々木昭美 S42年卒
- 山中 政法 S44年卒 今川 和彦 S46年卒
- 伊藤 健二 S48年卒 加藤 敏朗 S48年卒
- 阿部 真 S52年卒(新任) 渡邊 博之 S61年卒
- 菊池 宏幸 H11年卒

『江戸・東京探訪ツアー2018』

今年の探訪ツアーは晴天に恵まれた一日でした。

本部・在仙同窓会は元より、古川黎明高、古川学園に新たに岩出山高同窓会ほかの参加者を含めて女性3人が加わり、総勢18人が参加して、和気藹々になりました。

コースは横須賀の米軍基地に隣接復元した「記念艦三笠」を探訪して、明治の日本海海戦を回顧した探訪でした。

この後横浜の中華街での会食・懇親会を催し、尺八に美声も加わり、楽しい交流の場となりました。今後も身近な普段行っていない穴場を探した探訪を行いたいです。

(事務局 昭33佐々木恭次)

「江戸・東京探訪ツアー2018」参加者 (総勢18名) (敬称略)

- [本部・在仙同窓会] 堀越五郎(昭30)、高橋健三(昭30)、渡邊義之(昭34)、佐藤茂樹(昭45)、富田俊郎(昭62)
- [在京同窓会] 門脇喜代志(昭30)、曾根研一(昭30)、横山 武(昭30)、鹿野軍勝(昭36)、佐々木恭次(昭38)、相澤次雄(昭44)、亀井 明(昭55)
- [古川黎明高同窓会関東支部] 塚田裕見子(昭36)、田中久代(塚田様妹)(昭40)、渡辺やす子(昭39)
- [古川学園高同窓会関東支部] 村田征禧(昭38)
- [岩出山高同窓会関東支部] 田中豊男(昭40)
- [藤星会] 藤澤藤星(宗家)(昭34)

「記念艦三笠」探訪

昭30年卒門脇 喜代志

10月20日(土) 11時35分京急横須賀中央駅に集合して、国際都市通りと言った雰囲気のある道を通り、三笠公園の「記念艦三笠」に到着。乗艦して先ず「旗艦三笠」の説明を受け、艦内自由見学となる。

当時、軍事的にも領土的にも国際的にも強大な力を持つ帝政ロシアに対し、新興の小国日本が立ち向かい、明治38年日露戦争最大の開戦となった「日本海海戦」で、日本海軍がロシア艦隊を破ったその旗艦。



旗艦三笠と東郷平八郎像前にて

世界の三大記念艦の一つである三笠の艦長室や通信室を見たりしながら甲板に出たその瞬間、30センチ主砲四門と副砲十四門の長さ、と太さにびっくり。これが百余年

も前に大働きをした戦艦かと、思いを馳せながら手を触れたりし、感慨深く浸りました。

また甲板から米軍基地の建物などを眺望することが出来ました。

余分な話ですが、太平洋戦争で横須賀基地軍港は攻撃を受けずに残った。それは米軍が基地の再使用を考えて破壊しなかったためであり、日本軍が防衛のために掘られた延50キロメートルに及ぶ防空壕が今も残っているとのこと。

旗艦三笠の探訪を終えて駅に戻り途中、制服姿の海上自衛官また制服・制帽の婦人自衛官らしき乙女四人が立ち話をしている姿が気になり、逆戻りをして「ご職業は？」と伺いましたところ「兵隊です！」と名乗られて一瞬「兵隊?」。皆さんはどう受けとられるでしょうか。

駅から横浜中華街へ電車移動し、四川料理「京華楼」へ到着。会長挨拶、乾杯!となる。

今回は古川、仙台の同窓生は勿論、古川黎明、古川学園、岩出山高校の各同窓の方々が参加されて和気藹々、美酒談笑の内に持ち込みの尺八・歌い手も登場し、懐かしい民謡に手拍子も加わって打ちとけた楽しい会となりました。

閉会して店を出てみると土砂降りの雨に強風、急いで傘を買って求めたものの止みそうもないので、期待していた最年長の同期生5人での二次会はお流れとなってしまい、お互いの健康と再会の思いを胸に手と手を握り合って別れました。

今回の横須賀探訪ツアーは思いがけない新しい発見や忘れかけていたこと等に触れることが出来、また人と人との出会いもあり、思

い出に残る探訪の一日でした。人生前向きに考えまして来年は皆さんも探訪ツアーに挑戦参加してみませんか。



横浜中華街

「江戸・東京探訪ツアー2018」に参加して古川黎明高昭33年卒 塚田裕見子

今日十一月七日は二四節気の「立冬」です。

寒い朝に驚いて、日中の小春日和にはほっと安心しながら秋は通過中、そしてこの1年も最終の12月へと進んで行きます。歳月の経つことの早いこと感心するばかりです。ご同行の皆様だって、もうすぐ新年には一歳を加えることとなります。

さて江戸・東京探訪ツアーでは大変お世話になりました。皆様のご健脚ぶりに圧倒されました。ご承知かと存じますが、この歳

で「今日用」と(今日行)はとっても大切だと思うのです。すなわち、今日行くところや今日用があることという事です。半世紀以上も友情を育んで来た仲間と旅をする行事に古女の3人が参加を許されました。

有難うございました。その場で小耳にはさんだのですが、来年は山形行きで最上川の舟下りです。いいのでしょうか。さくらんぼ狩りのころがいいですね。私の希望です。今日行くと今日用をもっと研鑽する旅は必要かと存じます。

私事になるのですが、約2年間ばかり「東京古川会」の会長を務めることになったのですが、役員・会員の高齢と健康上の理由等で会は維持不能となり、解散をいたしました。その決断がなかなかつかず悩みました。

けれども、エエイ女は度胸とばかりの答えといたしました。しかし、私も故郷大崎市(古川)を思う気持ちは誰にも負けません。若かりし日の思い出を語りながら一泊の旅を今から描いております。

先の横須賀のツアーに戻りますが、日露戦争のビデオ、当時の男子は実に勇敢で、知的で、愛国心いっぱいと感じました。今日の平和の原点も知りました。私達人類の発展に最も必要なこと、それは平和ですものネ。

また個人に代えれば健康でしょう。高齢となり、今日の穏やかな日々を送れることに心から感謝しなければならぬと思います。この国とも戦争はいやだ!! 最後になりましたが、参加皆様にご感謝しながら、中華料理ごちそう様でした。

会員による自由投稿

70歳と80歳記念に

山の本を書いて
昭30年卒 三塚 正志



筆者

落の裏山に山の神が祀られていた。春秋の祭りには、山の神の登山道が整備され集落の人々が参拝に登った。

S40年頃から人々が山麓を去るようになると、山の神の登山道の多くが放置された。登山道は3、4年整備されないと廃道になる。私が大分市に住んでいた当時、山麓の集落の多くが限界集落または無人集落になっていた。

私は昔、山の神が祀られていたと推測される山とその登山道を重点的に調査した。この調査結果の一部を「大分県の低い山々」にまとめて出版した。

H20年、東京都に転居してから東京近郊の山や尾根を歩き始め、H30年秋までに約480回入山した(全て日帰り)。東京近郊の山歩きで気付いた主なことは、
①主要な登山道に行政が設置した道標(公的道標)が多いこと
②地形図持参の登山者が非常に少ないこと
③登山者が一日に歩く距離が長いこと

である。①については、行政側が歩かせたい登山道(一般登山道)を決めているようである。
②逆に、歩かせたくない登山道(一般登山道からの枝道など)には、公的道標はほとんど見当たらない。分岐点に立ち入り禁止の表示をしていることもある。このようなコースには、個人が取り付けた道標や目印はあるが、歩く人は非常に少ない。③については、一般登山道のみを歩く場合、公的道標が多いから地形図を読む必要はないようである。③については、一般登山道のみを歩く登山者は、公

私はS34年から北九州市に、H元年から大分市に、H20年から東京都に住んでいる。70歳記念に「大分県の低い山々」(2007)、大分合同新聞社」を、80歳記念に「高齢者にも楽しめる東京近郊の尾根山歩き」(2017、創英社/三省堂書店)を書いた(写真)。
九州には20代から60代まで通算45年間住んだ。若い時には、テント・炊事用具・食料などを背負って山を歩いた。
大分県には、県境尾根を含め約300の三角点がある。私は約240の三角点を踏んだが、その70、80%には踏み跡もなかった。山麓の集落には鎮守様があり、集

的指標に忠実に従えば、ただ歩くだけなので、一日で長い距離を歩けるようである。

私は地形図を読みながら、一般登山道のない尾根を歩くのが好きである。東京の登山者にも私流の山歩きを体験していただきたいと思いい、「高齢者にも楽しめる東京近郊の尾根歩き」を書いた。東京近郊の山歩きの案内書は多いが、尾根歩きのそれは少ないようである。これまでの案内書に、ほとんど掲載されていない尾根に重点をおいて書いた。



著書

大分の本を70歳で出版したので、東京の本を80歳で出版することにしました。

東京では、公共交通機関を利用しての山歩きなので、一日の調査時間が短いので、調査範囲も狭くなくなった。そもそも調査時間が不足だった。この結果、不十分なデータで執筆することになった。85歳記念にすれば良かったのではないかと考えている。

(注) 紙面の関係上全文を記載できませんでしたが、是非在京古高同窓会のホームページで全文をご一読ください (編集者)

古川高校

本部同窓会総会報告

昭42年卒 大友 文博

8月12日(土)に古川のグラウンド平成で同窓会総会が開催され、昨年と同様160人ほどが出席されました。在京同窓会からは鹿野会長、亀井副会長と大友が出席いたしました。

昨年度本部同窓会の役員が改選され、かなり若返っておりますが、伊藤同窓会長(昭47卒)や金校長の挨拶につづき、鹿野在京同窓会長、鈴木在仙同窓会長の祝辞があり、昭56卒で宮城県議会議長を務めている中島源陽氏が「出合いから始まる未来への物語」というテーマでの講演がありました。

中島議長は岩出山(真山)出身で、山深い地域で農業に従事しておりましたが、明るい農村のシンボリックな存在でNHKなどのテレビ取材も受けられるほどでした。現在は県会議長とし、宮城県全体の地域振興に取り組んでいます。これからの活躍を期待したいと思います。

また古高出身の佐野好昭宮城県副知事(昭51卒)、峯浦康宏県議会事務局長(昭53卒)、菊池恵一県議会議員(昭52卒)など、同窓生が宮城県議会の中核で活躍している紹介もあり、古高が有能な人材を輩出し、地元でも活躍している姿がみえました。

中島県議会議長の講演に対して花束を贈呈した写真の女性は古高女子第1期生(平20卒)です。



中島県議会議長と古高女子1期生

「築館高同窓会東京支部 総会・懇親会に出席して」

昭44年卒 山中 政法

築館高同窓会東京支部の総会及び懇親会が7月7日「KKRホテル東京」において開催され、在京古高同窓会からは鹿野会長と一緒に来賓として出席しました。

当日は、炎天下にも関わらず、来賓の方々を含め104名(男性71名、女性33名)が出席され、第一部「ミニ講演会」、第二部「総会」、第三部「懇親会」の順に進められました。

ミニ講演会においては、全国の刑務所で講演し、また、元受刑者を社員として雇用するなど、元受

高OGによる日本舞踊が披露さ



「縁」の一字を揮毫するという力強い書道パフォーマンスが披露されました(写真左)。

また、総会の後には、2010年に日本最大の書道展といわれる毎日展「毎日賞」を受賞(U23の部)するなど、書道家として活躍されている相馬美希氏(築高61回生)により、5メートル四方もある和紙の画材に躍動感をもって

そして、懇親会においては、築高の皆さんに心からお祝いを

そうした中であって、何よりも懐かしく思い出されたのは、今年で59回を数えるという築高と古高との定期戦。ご来賓の方々や校長先生が挨拶でも触れられ、また、「築高だより」にも見られるように、両校による定期戦は、単なるスポーツの勝ち負けにとどまらず、全校をあげて練習等に打ち込んできた成果を互いにつけ合っている。そして両校の歴史に新たなページを刻み、後世に繋げていくという、意義深いものがあるのではないだろうか。

今年度の定期戦は、築高が、「翔躍煌闘」悠久の史に轟く勝ち誇あげよ」の旗印の下、選手と応援する生徒が一丸となって戦った結果、6勝5敗で4年ぶりに勝利したとのこと。

また、懇親会においては、たくさんの方々とお話をさせていただきましたが、やはり築高と古高とは兄弟高であることや同郷出身ということもあってか、話も弾み、楽しい一時を過ごすことができました。

また、懇親会においては、たくさんの方々とお話をさせていただきましたが、やはり築高と古高とは兄弟高であることや同郷出身ということもあってか、話も弾み、楽しい一時を過ごすことができました。

お知らせ

一大崎への情報提供依頼

大崎市では現在、大崎市の食材を使った料理が食べられたり、大崎市の特産品が買えるお店を紹介し地域振興に努めるため、首都圏等で大崎市産を使用している店の情報を集めています。ぜひ、皆様からの情報提供をお願いいたします。

〈お問合せ先〉
大崎市産業経済部観光交流課
〒989-6188 大崎市古川七日町1番1号
TEL: 0229-23-7097
FAX: 0229-23-7578
E-Mail: kk@city.osaki.miyagi.jp



申し上げるとともに、両校のさらなる奮闘に期待いたします。

情報処理のエキスパート 完成図書・デジタル化総合サポート

電子納品作成支援
おまかせください!
導入から成果品まで専任スタッフがきめ細かく対応しバックアップいたします。

専任スタッフ・有資格	
CALS/ECインストラクター	10名
電子ファイリング	6名
文書情報管理士 1級	13名
2級	10名
CAD利用技術者 2級	3名
SXF技術者 2級	1名
ドローン操縦士回転翼 3級	1名

代表取締役会長 **早坂清吉** (昭和29年卒)

株式会社 ケーヨー <http://www.keyo.co.jp> E-mail: info@keyo.co.jp
本社 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 4-1-6
☎ 03-3242-0191 FAX 03-3242-0167

TECHNOLOGY of MAGNETIC PRODUCTS

EMC対策部品

- ノーマルモードラインフィルター
- コモンモードラインフィルター

チョークコイル

- スイッチング電源用ブーストチョークコイル
- インバータ家電PFC用ブーストチョークコイル

TMP株式会社
代表取締役 佐藤勉 (昭和42年卒)
神奈川県大和市大和南2-1-16 大和ホワイトビル 7F
TEL 046-260-9788 FAX 046-260-1024

古川へお越しの際は
お立ち寄りください

三味本店
海鮮居酒屋 創業1972年
海鮮居酒屋 一筋!
代表取締役 **井上秀隆**
昭和42年卒

セントラルパーク ●NTT 古川駅より徒歩4分
エクセルイン古川
ホフザ ●
ゲオ ● 七十七銀行 交番 ●
ルートイン古川駅前 ●郵便局 ●
東横イン古川 ●

宮城県大崎市古川駅前大通2-3-6
☎ 0229-22-0025
11:30~14:00・16:30~24:00
年中無休 12台
http://www.sanriku.net/

複雑な税務問題の相談に応じます

税理士鈴木博事務所

税理士 **鈴木博** (昭和46年卒)

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-5-1 第37森ビル1階
(虎ノ門合同事務所)
TEL 03 (3433) 0481 FAX 03 (3433) 0493
E-mail: hiro0917@toranomom-ssta.com

会員通信

〔30年度総会返信ハガキ通信欄から〕

●生地を離れて長い年月を経て思い出もときれがちですが、平成26年に離職するまで世界国中（南極と南米以外）殆ど仕事で歩いたので、良い思い出です。 (S23大金昭大)

●昨夏、10年来の老・老介護に見切りをつけ、家内は老人ホームに入所。以来独居老人の自炊生活。この8月で米寿を迎えます。年令相応の老化に伴う不自由はあれど致命的な支障はなく、外出を控え、一日一日を大切に、激変の政治、社会、技術を外野から眺めています。 (S24齋藤 馨)

●元気に暮らしています。毎日30分散歩して、それから読書です。名城をゆく、戦乱の日本史、江戸三百藩など楽しんでます。 (S28早坂明久)

●古代朝鮮の三か国（高句麗、新羅、百済）との文化交流と帰化等に関心を持ち、調べている。 (S29湯本良師)

●健康と思っていたが、5月4日に急変、右腕上らず、寝返り打てず、診断結果は頸椎靭帯骨化症。さらに、脊柱管狭窄症で、初め元気良く歩きはじめても400歩程で脛がパンパンで歩行困難になる。テニスは未だやらない。 (S30高橋 廣)

●私の毎日の生活は週2回卓球、1回囲碁をやって、後は畑仕事、庭の植木の剪定等をして趣味と実益を兼ねて楽しんでます。 (S30横山 武)

●後期高齢者二人、後期高齢犬一匹で過しています。幸い二人と一匹は、時々問題は起るが、今のところ、それほど深刻にならずに切り抜けています。 (S30和田勝義)

●毎日が飛ぶ様に過ぎて行くし、世の中の出来事も面喰う事ばかりです。平穩無事な世の中を期待したいものです。 (S31相澤昭男)

●80才過ぎたら、この先何年保つか指折り数えたりするようにになりました。ゴルフも山登りも年3〜4回位になり、淋しい限りです!! (S31阿部 進)

●三曲（箏、三絃、尺八）合奏を楽しんで、元気に過しています。 (S33菅原富男)

●ボランティア・ラポート代表として、ボランティア、講演活動に忙しくしております。 (S33早坂英郎)

●年相応、病をかかえ、正面から向き合っています。息子が昨年、アメリカ（アトランタ）勤務を終えて、インドネシアのジャカルタに転勤。私と会社は異なるも、私と同じ赴任地を、春に家内となつかしく訪問し孫達と再会。 (S35我妻一美)

●ガン等、3度の手術から、15年経過。闘病中も筋トレの成果で、脚力健在。今は、月、木、土、日と野球三昧、ぜいたくで充実の日々。やがて来る引退を先に先に延ばしたい。 (S36江崎 肇)

●「年賀はがき早期購入キャンペーン」の「A賞東京宝塚劇場ベアチケット」に当選し、4月に夫婦で観劇して来ました。 (S39上野正司)

●月組公演で、「カンパニー」と「BADDY」の2本立て。古高後輩のタカラジェンヌ97期生・月組・蓮つかささんも、「バーバリアン」役と「バッドボーイ」役に出演。更に、ブログラムの日本経済新聞社の広告にも単独の全身スチール写真が掲載され、活躍の様子を目の当りにし、思い深い観劇となりました。 (S36尾玉隆行)

●深夜便を聞き、4時30分には起きる。相変わらずの毎日、変わらない

●事柄が幸せなのか、たまには変化も、年齢を感じない様に。久しぶりに会った友人からは歳、とつたねと言われた。 (S36佐藤宗博)

●6月29日より、北海道中標津町への表敬訪問旅行あり、今だ野球に熱中。古希を過ぎた今も元気です。 (S37六戸照男)

●白髪三千丈、75歳になり毎年の墓参りもいつまで出来るやら、最近酒の酔いが早く、ありがたいやら悲しいやら。 (S37杉野(旧姓板垣)邦熙)

●引き続きハウス開発を実施しております。 (S38浅野勝吾)

●H30.12.1に生れ故郷の岩出山に帰ります。H31からは地元同窓会所属となります。永い間ありがとうございました。 (S38阿部重人)

●リタイアして14年、健康維持の為、早朝ウォーキングに励んでおります。いつも「蛭雪」のたより楽しく拝読しております。ありがとうございます。 (S38二郷文俊)

●個展準備のため那須で制作中です。創造は破壊から始まると言います。古高の偉大なる師匠戸章の「消すことは、描くことなり」を手本として74才の新たなスタートとして邁進していきます。 (S38宮本信夫)

●相変わらず、ハウスメンテの仕事をしていきます。あとカンツォーネ歌手として月2回ステージに立っています。 (S39上野正司)

●幼児のバス送迎と用務の仕事も6年目になり、お酒・ランニングと続いています。今回は用事が重なり出席できませんが、次回を楽しみにしております。 (S39笹原誠一)

●卒と共に仕事をやる様になったものの、まだ現場廻りをやっている状態です。なかなか皆様に会える機会が何時来るのかなと思っています。 (S39菅原 静)

●毎日、8,000〜10,000歩、歩

くよう心がけています。 (S39千葉則道)

●毎年お誘いいただきありがとうございます。母を介護中で（時々母の姪も）自由な時間が限られています。その内出られるかも知れません。 (S43霜田 茂)

●現在、右肩痛で通院中です。肩、頸、膝、肘、腰と全身の関節がローテーションの如く痛み、通院しています。結果、運動不足なのでしょう! (S44角田耕二)

●古里にプライベートライブラリーを設け、会員制で運営しています。晴耕雨読を楽しみたいという思いが契機でした。 (S45岩瀬昭典)

●総会のご成功をお祈りいたします。講演なさる荒川さんが、嗚子方面行きの汽車に乗るとすぐ英和辞典を開き、学業に勤しんでいる姿を思い出しました。 (S46佐々木 明)

●5月24日、News Socraで「事件の深層「耐震偽装事件」」として、山岡淳一郎氏の私に対する取材記事が掲載されました。 (S47小嶋 進)

●4月で65才となり、NECを退職。引き続き協力会社社員としてNECグループの支援を行っております。 (S47松本秀二)

●伊藤健二君の「4校新年の集い」、興味深く拝見いたしました。還暦同級会以来の消息でした。これまでの「大崎氏のルーツ」、「小松寺の千手観音」の特集記事は圧巻でした。感謝申し上げます。 (S48平野徳雄)

●2018.8.31でJR東日本を退職し、実家に戻りました。 (S51森 明彦)

●母校の中央大学にて教鞭を執ること、今年で14年目になります。古高時代は山岳部でしたが、最近は、「社会的共通資本」の観点から「里山」についても研究しています。 (S56松谷泰樹)

BIPIは、企業様と共に事業開発・経営改善に取り組み、第2・第3の成長を創るパートナー

Business Integration Partners
BIPI株式会社
取締役会長 佐々木 昭美

東京本社 東京都中央区日本橋1丁目2-10 東洋ビル6F
TEL: 03-5542-1417 FAX: 03-5542-1418
東北事業所 宮城県仙台市青葉区中央1-2-3 仙台マークワン19F
TEL: 022-208-9322
E-mail: info@bi-p.co.jp URL: http://www.bi-p.co.jp



MOTOR SPORTS OIL
FORTEC

エコオイルからレーシングオイル開発に携わり、国内、海外展開をしている。
FORTEC モータースポーツオイル発売元
耐久レース、ラリー、ダートトライアル、ジムカーナ等のサポートドライバーが大活躍しております。

代表取締役 渋谷 誠一 (昭和42年卒)
フォルテック株式会社
〒270-1108 千葉県我孫子市布佐平和台4-5-23
TEL 04-7189-4117 FAX 04-7189-2687
<http://www.fortec-oil.com/>